

【議事要旨】

会 議 名	令和6年度第5回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和6年8月2日（金）午前10時30分から正午まで
開 催 場 所	庁議室
委 員	■出席者 （委員長）荒川企画経営部長 （副委員長）湯川総務部長 （委員）相川企画課長、野々山連携協創担当課長、江村財政課長 （説明員）清水教育指導担当課長 ■欠席者 若杉総務課長、大浦契約管財課長
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	審議事項 （1）指定管理者候補者の選定について ・ 港区立伝統文化交流館 【資料1】 ・ 港区立しばうら保育園・しばうら保育園分園 【資料2】 ・ 港区立箱根ニコニコ高原学園 【資料3】 ・ 港区立みなと科学館 【資料4】
配布資料 （本施設に係るもの）	資料4 指定管理者候補者選定調書 資料4-2 指定管理者候補者選考委員会報告書 資料4-3 選考委員会審査結果 資料4-4 選考委員会会議録 資料4-5 指定管理者候補者の事業提案書 資料4-6 第三者評価報告書 資料4-7 令和5年度指定管理施設評価票 資料4-8 指定管理者応募者提案内容の比較表（該当施設のみ）
会議の結果及び主要な意見（本施設に係るもの）	
（意見者） 清水課長	・ 港区立みなと科学館 （資料について説明）
江村課長 清水課長	委員長の肩書について、誤りがあるので修正をいただきたい。 承知した。
相川課長 清水課長	資金・収支計画書の長期保全費について、年度ごとに金額差が生じている理由について伺いたい。 プラネタリウムの各種部品の交換について、それぞれの耐用年数に応じて、各年度に修理が予定されているため、年度ごとの費用についてばらつきが生じている。

湯川部長 清水課長	提案内容のうち、新規の取組はあるか。 次期指定期間においては、参画に重視した取組をすることとしている。令和2年度の開館以降、多くの方に来館いただいている。その状況をとらえ、リピーターを生む取組をしていきたい。
湯川部長 清水課長	現状の利用者数については、開館当時の目標に到達しているのか。 SNSでの周知はもちろん、利用者の口コミが広がり小説のテーマになるなど、認知度の向上がみられている。開館当初は新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、現在は目標を達成している。
湯川部長 清水課長	参画に重視した取組とは具体的にどのようなことか。 子供たちが大人になっても科学館に来訪してもらえるよう、実験教室などの企画への参加や体験を通じた取組を提供していく。
野々山課長 清水課長	応募にあたってどのような周知をされたのか。また、事前説明会の参加社数及び説明会に参加したものの公募に参加しなかった事業者の理由についてご教示いただきたい。 東京近郊の科学館や日本プラネタリウム協議会の管理事業者、前回の参加者への連絡のほか、全国科学館連携協議会への周知などを行い説明会には7社の参加があった。質問自体は5社61問あり、関心が寄せられていることは感じられたが、応募には至らなかった。主な理由としては、プラネタリウムと併せて行う事業規模の大きさ、必要な人員確保がネックであることなどである。
野々山課長 清水課長	資金・収支計画書について、光熱水費がすべてまとまった費用として計上されているが、その理由をご教示いただきたい。 気象庁などとの合同庁舎であり、按分した割合による経費負担になることから、個別ごとの算出が難しいため、この表記になっている。
野々山課長 清水課長	5(11)の自主事業計画でD委員が2点となっているが、その理由は何か。 当該委員としては、プラネタリウム事業の専門性に特化した提案を求めていたが、その提案がなかったことから評価が低くなっている。
野々山課長 清水課長	他団体など外部との連携について提案はあったか。 具体的な提案はなかったが連携が求められる場面では所管課としてもアシストして積極的に取り組んでいきたい。
荒川委員長 (全員)	他になれば、本件については了承でよろしいか。 異議なし。